

# 名古屋市老人クラブ通信

## 第35号

(公社)名古屋  
毎年1・4・7

発行 (公社)  
〒462  
名古屋  
TEL.0  
http://  
制作 (株)  
〒462

# なごやかひろば

## 名古屋市老人クラブ連合会 第29回 女性リーダー研修会



えのこととお慶び申し上げま  
す。皆様には日頃から老人ク  
ラブ活動に格別のご理解とご  
協力を賜り厚くお礼申し上げ  
ます。  
老人クラブは、発足当初か  
ら「健康」「友愛」「奉仕」の  
活動に取り組んできました。  
高齢者の人口が4人に1人を  
占め、人生100年時代を迎え  
た今日、老人クラブ活動に  
対する社会的な期待はますます  
大きくなっています。

と協力が得られるよう取り組  
み、そして、他世代・地域関  
係団体等との連携に努め、会  
員増強に資する新たな活性化  
対策を講じなければなりません。  
これからの高齢社会で、  
老人クラブは、地域において  
自助、互助の重要な担い手と  
して積極的な活動・取り組み  
を期待されています。老人ク  
ラブをあげて超高齢社会のモ  
デルになるよう活動しましょ  
う。  
本年も皆様にとりまして素  
晴らしい年となりますことを  
心からお祈り申し上げます。

昨年11月29日、第29回女性リーダー研  
修会が名古屋市総合社会福祉会館7階大  
会議室で開催され、市老連理事を含め約  
150名が参加しました。  
今研修会の基本テーマは「災害に強く  
なる知恵と地域の役割」。開会に先立ち  
長尾会長から「地震、カミナリ、火事、お  
やし」とよく言われます。私も地震の  
時、机の下に隠れた経験があります。本  
日は研修会を通じて、改めて過去を振り  
返り、未来に起こりうる災害について考  
えましょう」と挨拶がありました。  
まず名古屋大学減災連携研究センター  
長・福和伸夫教授の「未来の子供たちを  
巨大地震から守るために」と題したユ一

モアあふれる講演(別項)があり、その後  
オリエンテーションとして、女性委員会  
の加納委員長が  
研修会の流れを  
説明しました。  
昼食後、いき  
いきクラブ体操  
でからだをほぐ  
し、3グルー  
プに分かれ、基本  
テーマに沿って  
意見交換の分散  
会が行われまし  
た。  
(2頁に続く)



### シリーズ

### 熱田

地下鉄西高蔵駅のすぐ東  
約三千坪の森の中。祭神の高  
倉下命(たかくらしのみこと)  
が熱田神宮の祭神と深い結ひ  
つきを持つ神社として、古来  
信仰を集めてきました。また  
「高座(たかくら)さま」と  
いわれ、子育ての神として信  
仰が篤く、幼時の生育と虫封  
じを祈願して15才までの期  
間を子預けする習慣が、県内  
外に広く知られています。  
6月1日の例祭には子ども



- 交通
- 地下鉄名城線「西高蔵駅  
下車」東へ100メートル
- 市バス大津通線「高蔵下  
車」西へ150メートル

わたしたちは、名古屋市老人クラブ連合会の活動を応援しています

株式会社 医学予防会  
PREVENTIVE MEDICINE  
住宅型有料介護サービス

JMKS http://www.jmks-med.or.jp/  
医療法人 慈照会グループ

医療法人 愛生会  
救急指定病院・健診センター  
公人上能田第 応時



参加者が活動を報告し、助言者、座長がまとめながら進行。全体会で意見集約



され、災害に備え各自がやるべきこと、地域住民との助け合いなどが、いかに大事かを参加者は改めて感じました。  
最後に、加納委員長から挨拶があり「先生の講義を聞いて、本当に名古屋に住んでよかったと思えました。これからも地域を結び、絆を大切にして、楽しい老後を過ごしましょう」と結びました。そして、全日程

が無事終了となりました。ロビーには各区老連の会員による手作り作品が展示され、参加者はじっくり鑑賞していました。



《講演要旨》



名古屋大学減災連携研究センター長 福和伸夫 教授  
「未来の子供たちを巨大地震から守るために」

◇軟弱地盤

火力発電所では、これからやってくる地震の際、電気を賄いきれません。今の日本は電気に頼り過ぎているので、いざという時、電気がないと困るのです。

堤防は、伊勢湾台風風の被害を受け突貫工事のものが多く、崩れる可能性がります。その近辺は半分は住んではいけない所、過去にどれほどの被害があったのか忘れてはいるのです。

軟らかい地盤では、背の高い建物は低い建物より揺れます。地盤についてもしっかりと調べてください。

◇地域を知る

昔(古地図参考)は、水害が出る所は水田に、高台に住居を構えていました。

◇子供たちへ

名古屋市の南海トラフ巨大地震が発生し火災が起きれば12万軒が燃えるといわれています。しかし市内には消防車が300台しかありません。この知識があるから各家庭に消火器が必要だと分かるのです。「安政東海地震・下田を襲う津波の絵」と今を比べてください。危険な場所には町がないでしよう?過去の災害を勉強しないから被害も大きくなるのです。

名古屋市内で液化化する所は区によって全く違います。何度も揺れると液状化現象が起こり、家が傾き、水道管が破裂する。もしもの時を想定して、食糧と水の備蓄、家具の転倒防止もしっかり行ってください。  
名古屋の町には、西に大断層があります。今自分が住んでいる地域の災害の歴史を学んでください。

名古屋の町は救世主です。中部電力本日も質実であり、子たくさんで儉約家が多い。つまり日本の大事な文化を維持しているのです。  
ぜひお孫さんに、名古屋の子供たちのために今一度力を出して、過去の教訓を伝え、安全な町にしたい。

名古屋市 休養温泉ホーム 「松ヶ島」のご案内

市老連 これからの行事予定		
月日(曜日)	行事名	場所
1月21日(水)	JASSくらぶとの交流交歓事業	連立と姉妹会館ホール